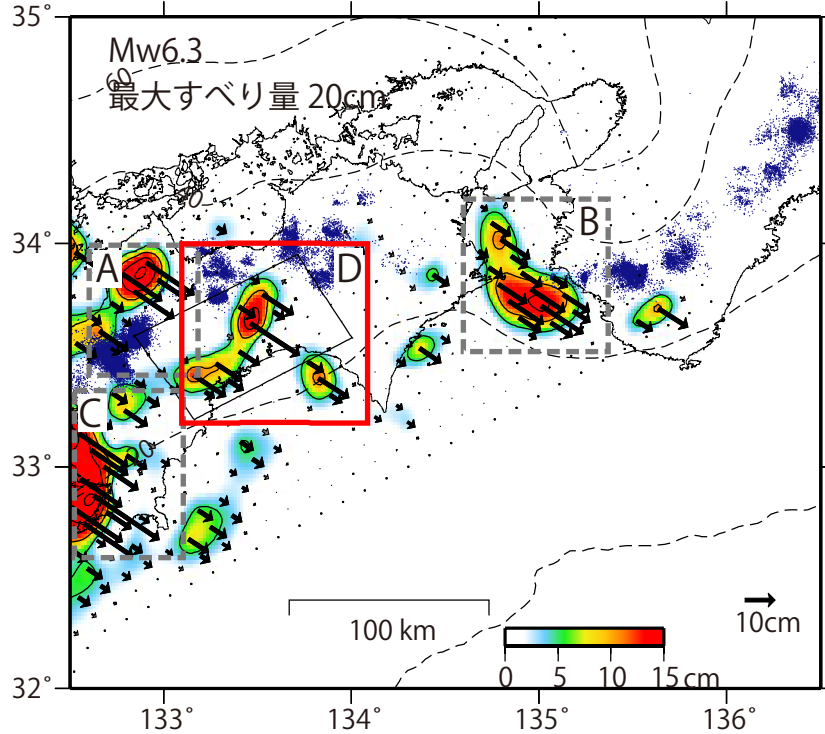


# GNSSデータから推定された四国中部の長期的ゆっくりすべり (暫定)

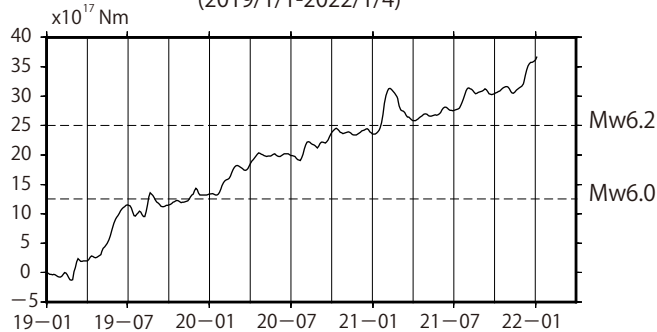
推定すべり分布  
(2019/1/1-2022/1/4)



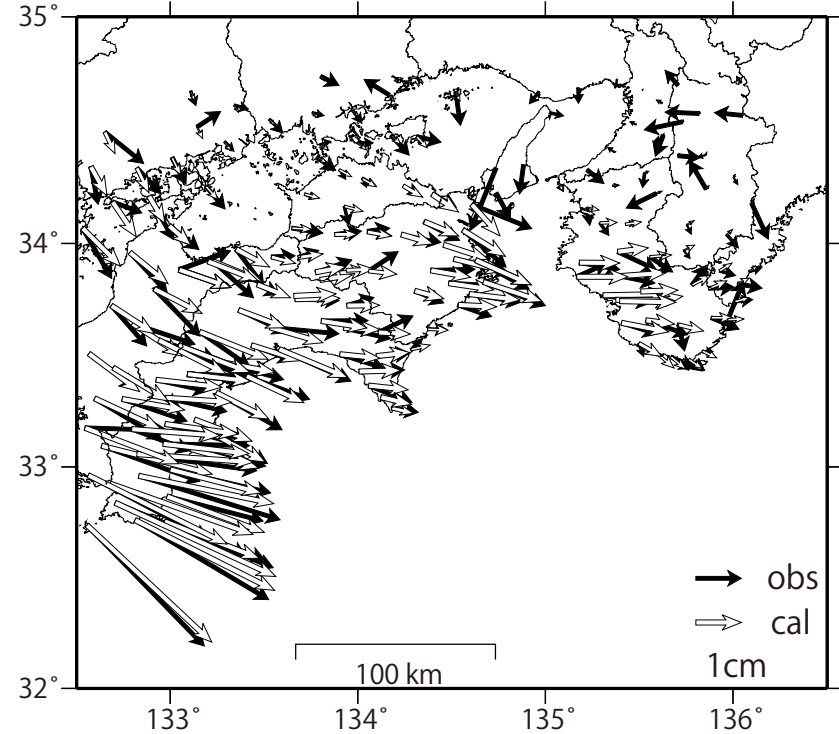
Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。  
すべり量(カラー)及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。  
推定したすべり量が標準偏差( $\sigma$ )の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

- A 四国西部の短期的ゆっくりすべり
- B 紀伊水道の長期的ゆっくりすべり
- C 豊後水道の長期的ゆっくりすべり
- D 四国中部の長期的ゆっくりすべり**

モーメント時系列(試算)  
(2019/1/1-2022/1/4)



観測値(黒)と計算値(白)の比較  
(2019/1/1-2022/1/4)



使用データ:GEONETによる日々の座標値 (F5解、R5解)

F5解(2019/1/1-2021/12/18)+R5解(2021/12/19-2022/1/4)

※電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間:2017/1/1-2018/1/1

(年周・半年周成分は2017/1/1-2022/1/4のデータで補正)

モーメント計算範囲:左図の黒枠内側

観測値:3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線:フィリピン海プレート上面の等深線 (Hirose et al., 2008)

すべり方向:プレートの沈み込み方向に拘束

青丸:低周波地震(気象庁一元化震源) (期間:2019/1/1-2022/1/4)

固定局:網野